

【講師紹介】

朝来市地域包括支援センター 主任介護支援専門員 足立里江



赤十字病院で看護師として勤務した後、双子の出産をきっかけに平成4年在宅介護支援センターへ転職。その後、ケアマネジャーとなったが頑張りすぎてバーンアウト。その経験から、ケアマネジメント支援の必要性を実感。現在は地域包括の主任介護支援専門員として、地域のケアマネジャーが働きやすい環境をつくるのが何よりのミッションと考えている。

地域包括支援センターによる効果的なケアマネジメント支援の在り方に関する調査研究事業委員会委員（厚労省）や、全国地域包括支援センター現任研修（長寿社会開発センター）等、委員・講師を多数担当。

主な著書には、『兵庫県朝来市発・地域ケア会議サクセスガイド』（メディカ出版）、『援助関係の軌跡』（関西学院大学出版部）、『はじめての多職種連携』『はじめてのモニタリング』（中央法規出版）、『朝来式ケアマネジメント支援サクセスガイド』（メディカ出版）『月刊ケアマネジャー』（中央法規出版）、『医療と介護 NEXT』（メディカ出版）連載など、ケアマネジメント等を中心に執筆活動を展開している。

好きなものは「キティちゃんグッズ」と「気づきの事例検討会」。猫と遊ぶこと、お風呂でビールをいただくことが毎日の楽しみ。

さくらの苑居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 國眼尚美



総合社会福祉施設、旭川荘（岡山県）に就職。18歳以上の最重度知的障がい者の担当となる。自分の心を伝えることが難しい方たちからの学びが今も自身の財産になっている。縁あって兵庫県で生活をするようになり、保育所に勤務。その後ヘルパーへ転身。そして今、主任介護支援専門員の仕事をしているが、朝来市の事業所の垣根を越えた素晴らしいネットワークがなければ、仕事を続けることは難しかったと実感している。

「ケアマネジメント支援」「地域ケア会議」等に関する研修講師を担いながら、朝来市ケアマネジャー協会在宅医療・介護連携委員、気づきの事例検討会推進委員長等を歴任。

執筆活動として、達人ケアマネ（日総研）、『朝来式ケアマネジメント支援サクセスガイド』（メディカ出版）へ寄稿。

好きなことは掃除。ワックスをかけた後の床を素足で歩くあの時の足の裏の感覚がたまらない。